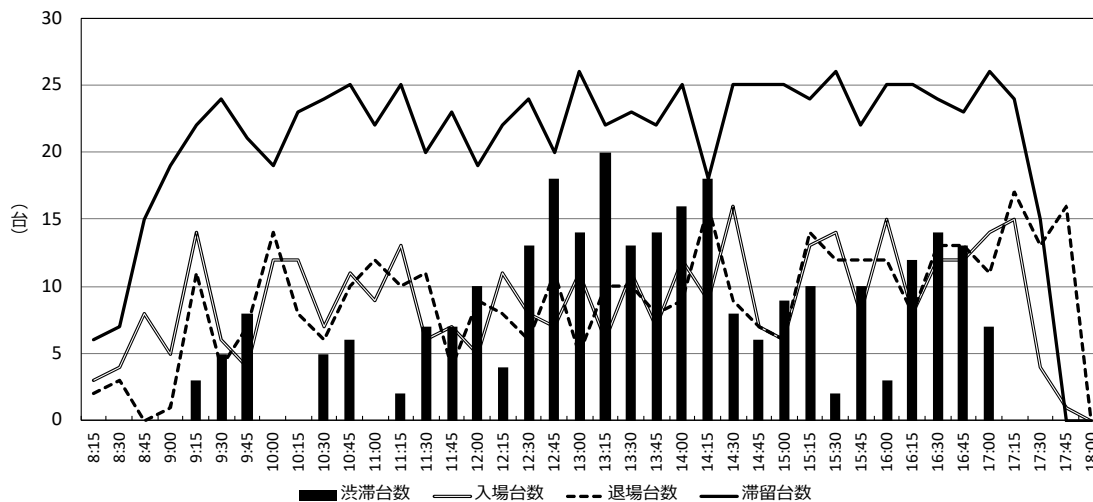


カムイワッカ湯の滝利用と意識調査結果の追加報告

北海道大学大学院農学研究院 愛甲哲也・八尋聡・伊藤瑠海

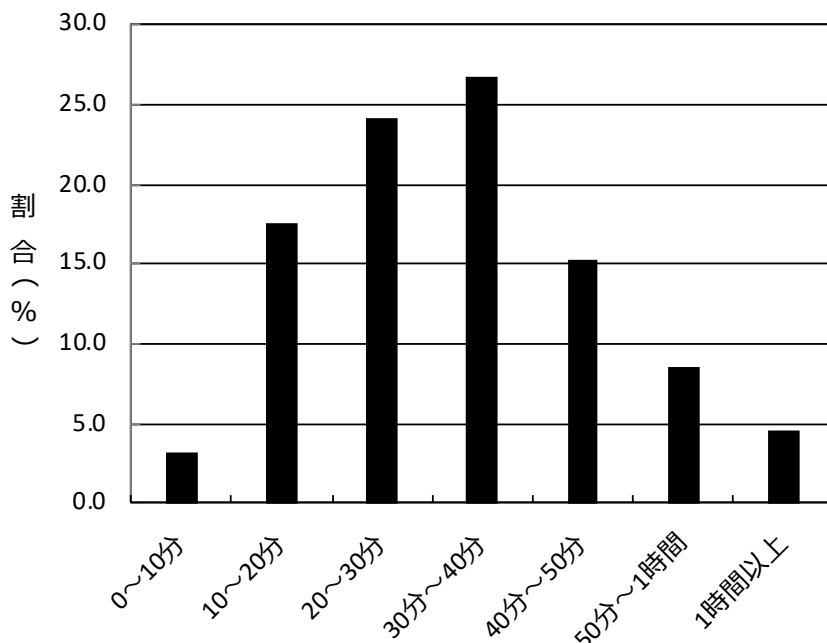
1. カムイワッカの利用状況

カムイワッカ駐車場の入り口で、車両の番号を記録し、入場、退場、滞留台数を計算した。9月のシルバーウィークでは、9月20日が最も多く、353台が入場し、11時から17時まで渋滞が発生した。



図：2020年9月20日のカムイワッカ駐車場の車両数

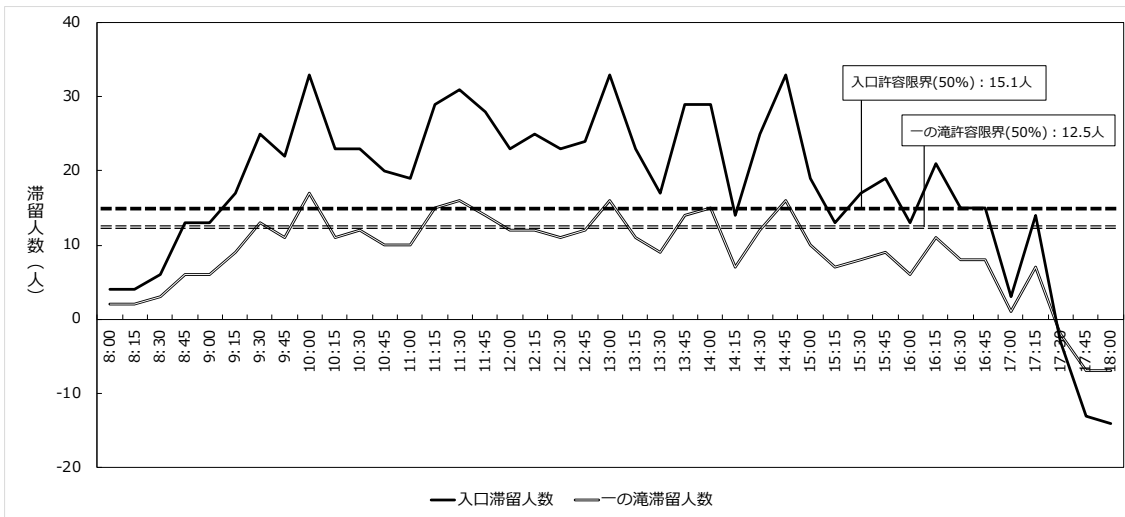
滞在時間の平均は、32分であり、40分未満が多かった。9月20日は前後の日よりやや長かった。



図：2020年9月20日のカムイワッカ駐車場の滞在時間

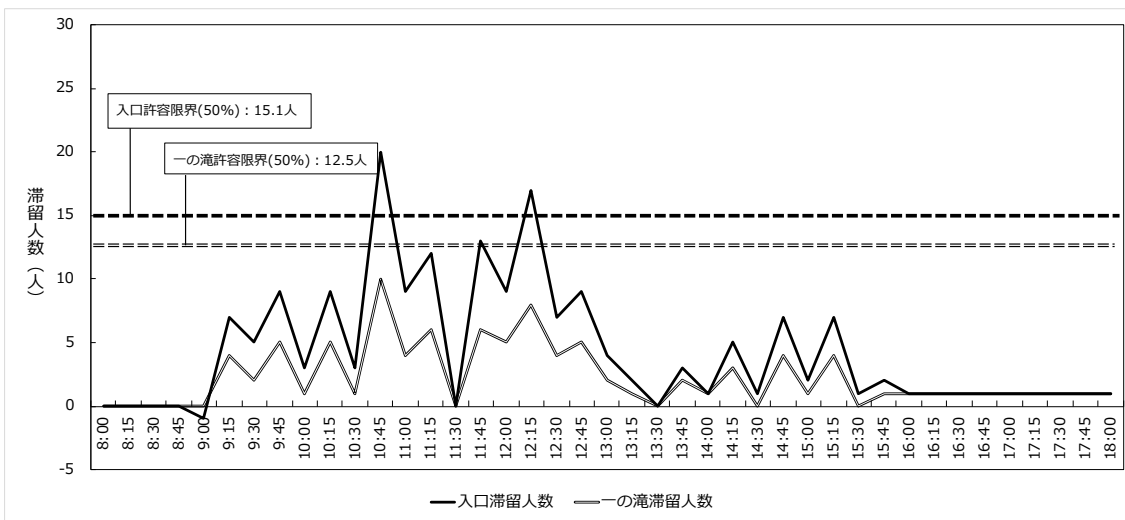
2. カムイワッカ湯の滝内の滞留人数

湯の滝入り口のトラフィックカウンターにより、入場者数、退場者数を把握し、滞留人数を計算した。カウンターには誤差もあった。9 月 20 日の入場者数は 830 人で、入り口付近で 15 分単位で 30 人、一の滝で 15 人程度の滞留がみられた。



図：2020 年 9 月 20 日のカムイワッカ湯の滝の滞留人数と許容限界

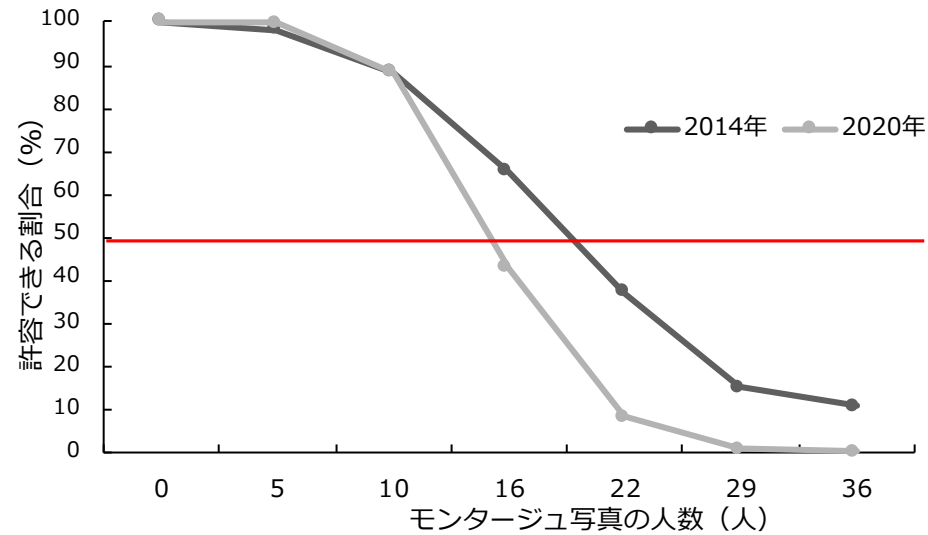
オータムバスデイズ期間中で、カムイワッカ湯の滝の入場者数が多かったのは 10 月 4 日で、252 人であった。入り口付近で 20 人、一の滝での滞留人数は 10 人以下であった。



図：2020 年 10 月 4 日のカムイワッカ湯の滝の滞留人数と許容限界

3. カムイワッカ湯の滝の混雑感・許容限界

2020年8月および9月に、2014年に現地で行った意識調査と同様のモニタージュ写真を用いて、利用者に許容できる人数を質問した。2014年に比べて、2020年の許容値は人数の多い写真で少なくなった。



図：カムイワッカ入り口における写真中の人数の許容限界



↑写真1 (0人)



↑写真2 (5人)



↑写真3 (10人)



↑写真4 (16人)



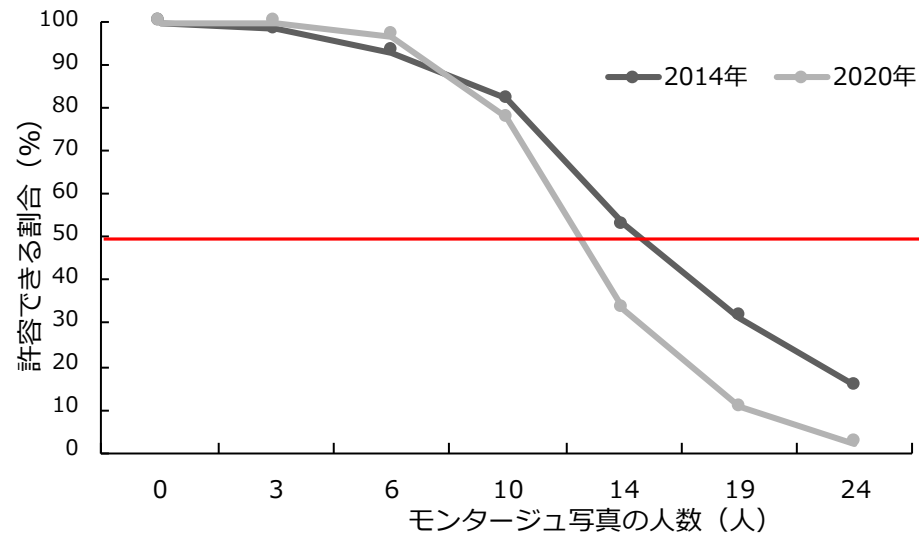
↑写真5 (22人)



↑写真6 (29人)



↑写真7 (36人)



図：カムイワッカの滝における写真中の人数の許容限界



↑写真1 (0人)



↑写真2 (3人)



↑写真3 (6人)



↑写真4 (10人)



↑写真5 (14人)



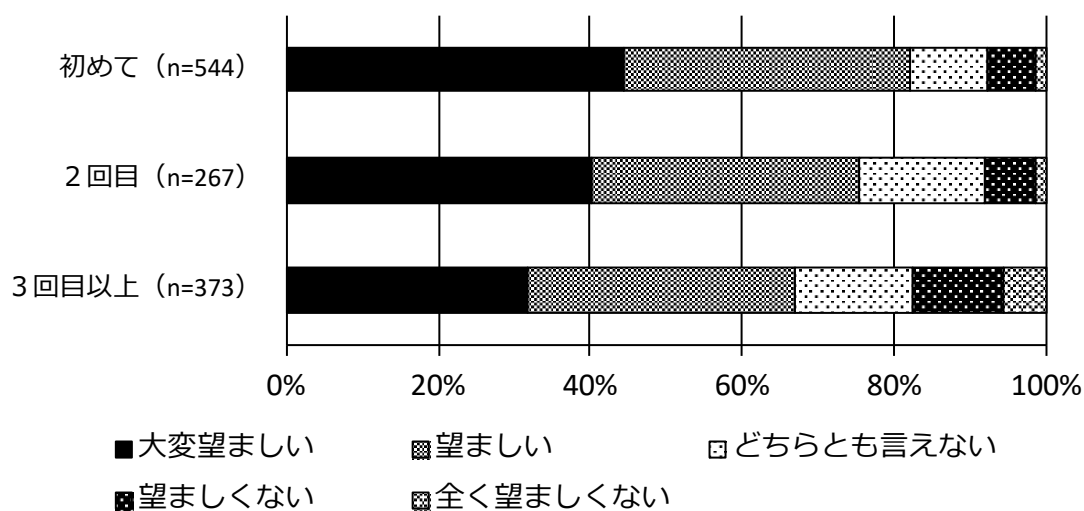
↑写真6 (19人)



↑写真7 (24人)

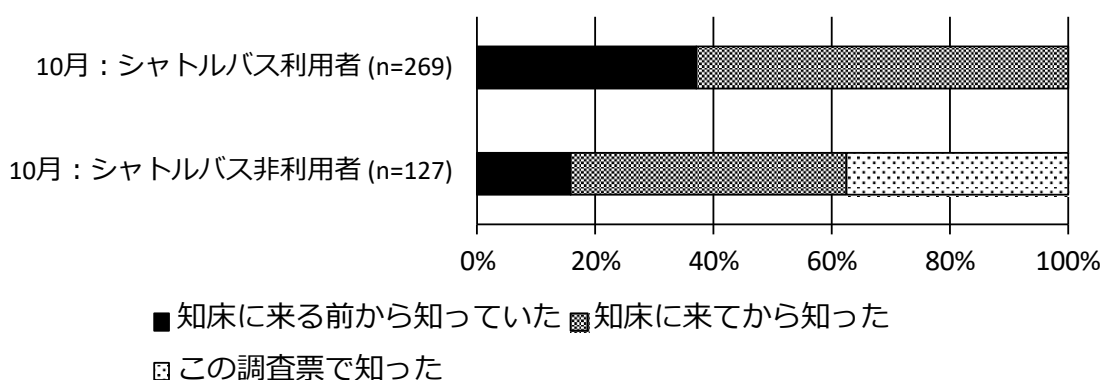
4. シャトルバス利用の意識調査より

8月、9月、10月の意識調査回答者（回答者数等は前回の部会資料を参照）について、オータムバスデイズのシャトルバス運行について、知床の訪問回数が少ないほど支持が高いことが示された。



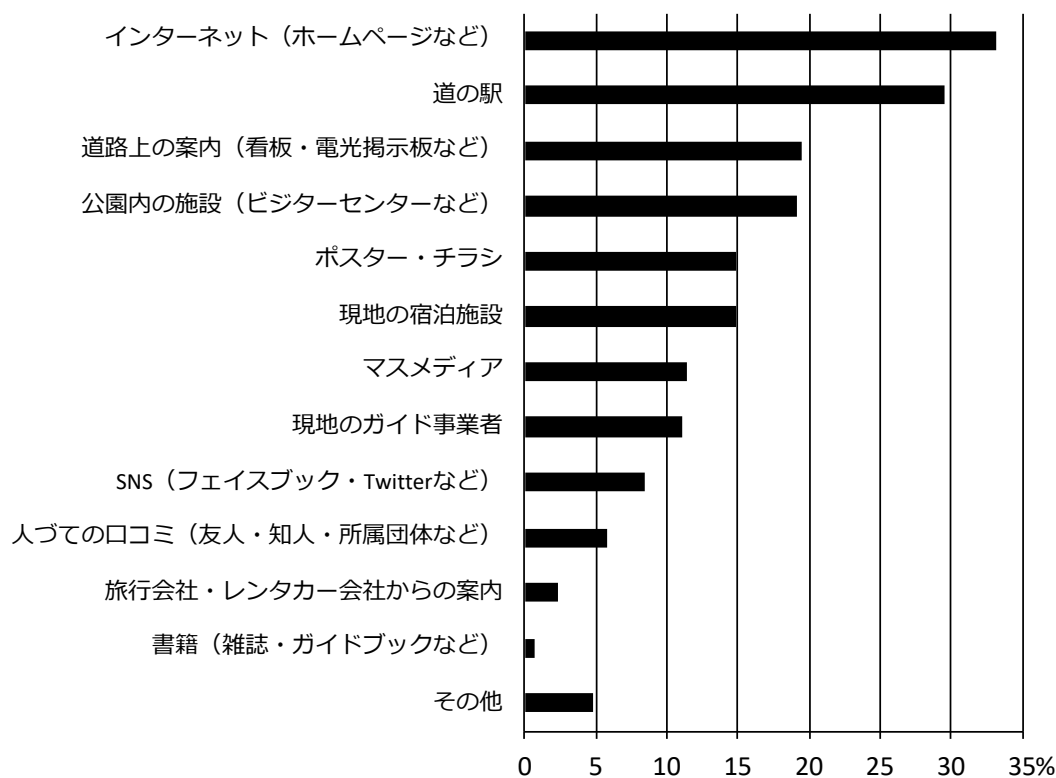
図：知床訪問回数とシャトルバスの支持

シャトルバス利用者のほうで、事前に知っていた回答者が多かった。



図：オータムバスデイズの認知時期とシャトルバスの利用

オータムバスデイズの情報源は、インターネット、道の駅が多かった。



図：オータムバスデイズの情報源

認知時期や満足度、ガイド乗車等のオータムバスデイズの支持や満足度への影響については、明確ではなかった。アンケートではじめて知った人で、望ましさはやや低い。

